

障がいのある方の雇用に取り組む

(有)山田木工所(京都市南区)

「京都はあとふる企業」です

◆主な事業内容：建具・家具の製造

障がいのある方が従事している仕事
レーザーによる3D加工、建具の製作(ドアなど)



【雇用を開始して】

- ・6人の従業員のうち、2人が障害のある方です。3年目の方は3Dターニングマシンとレーザー加工機による製作に、2年目の方は木工職人として製作に携わっています。
- ・当初はなじみにくい様子であったが、従業員全員が、障害特性を共有し、必要な配慮をする中で、落ち着いてきました。
- ・勤務時間も、無理のないように、本人と相談して決めています。
- ・職人による手作りの仕事であったが、レーザーによる3D加工の導入で、はじめて障害のある方の雇用が可能になりました。
- ・京都中小企業家同友会のソーシャル・インクルージョン委員会にも参画し、障害のある人をはじめ、多様性を許容できる社会づくりに貢献していきたい。

【雇用のきっかけ】

身近に障害のある人がおり、「障害者の自立」を考える機会が多く、会社としてもその一助となれればと考えたことがきっかけです。

【Mさんに聞きました】

- ・3D加工の他、ペーパー掛けや塗装を担っています。教えてもらうことが多いです。
- ・実習に来て、「これなら出来そう」と思い、就労しました。続けていくことが課題です。
- ・ゲームをしたり、友人とAKB48のイベントに行くことが趣味です。

【Tさんに聞きました】

- ・趣味が手作業での物づくりで、ドア等の製作に携わっています。木工はカンナやノミの手加減で、出来上がりが変わるのが面白いです。
- ・勉強することは多いが少しずつ出来るが増えてきています。毎日全力で取り組んでいます。
- ・一人暮らしで整理整頓が苦手ですが、弁当を作ったり、ウエイトトレーニングをしています。

